

臨床実習 (臨床見学)

[実習] 第1学年 通年 必修 1単位

《担当者名》○坂上哲可 tsakaue@hoku-iryo-u.ac.jp 鎌田樹寛 本家寿洋 浅野雅子 児玉壮志 浅野葉子 朝日まどか 桜庭聡 西出真也 依田泰知 齋藤隆司

【概要】

複数の作業療法領域における5日間の臨床見学と2日間の学内オリエンテーションおよびセミナー発表会によって構成される。学内セミナーでは、臨床での見学で修得した経験をグループで討議し、作業療法の実際について理解を深め、学生間で経験を共有し、プレゼンテーションする。

【学修目標】

【全体】本実習の目標は、複数の作業療法領域における臨床の見学を通して、作業療法が対象とする領域の多様性と共通する専門性を理解し、作業療法の全体像を把握するとともに、将来の学修への動機づけを高めることである。

【一般目標】

作業療法が展開される各領域の特徴と役割の概要を理解する。
作業療法士に求められる基本的態度や専門職としてのあり方を理解する。

【行動目標】

各実習領域における対象者・主な支援内容・作業療法士の役割を説明することができる。
見学した作業療法場面について、要点を整理して記録することができる。
異なる領域間での作業療法の共通点と相違点を整理し、説明することができる。
医療・福祉専門職として求められる基本的な態度やマナーを理解し、実習中に実践できる。
実習経験を振り返り、自身の興味・関心や今後の学修課題を言語化することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	オリエンテーション	初めて作業療法が実施されている場面に臨むにあたり、そのための心がまえや、注意点などを確認する。	担当者全員
	臨地実習	本実習は、以下の4項目の習得を目的として、実施される。 1. 臨床の見学と体験を通して、リハビリテーションとその中に位置づけられる作業療法の概要と役割を学び、作業療法のイメージを具体化すること。 2. 対象者や多職種との関わりについて理解すること。 3. 専門職としての基本的態度や姿勢を学ぶこと。 4. 人との交流を通して、相手の立場に立って考えることを学び、コミュニケーション能力を培うこと。	各実習施設指導者
	セミナー発表会	学生各々が臨床見学で経験した事に基づいたグループ討議をまとめ、プレゼンテーションする。	担当者全員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

事前課題 25%
実習中課題 35%
実習後セミナー 10%
レポート 10%
アンプロフェッショナルな行動 20%

【備考】

「臨床実習の手引き」を配布する。

【学修の準備】

「臨床実習の手引き」を熟読し、必要な準備を行うこと。

【実習日程】

臨床実習 : 2026年9月29日～10月27日、内火曜日5日間

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP2) 作業療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】

坂上哲可（作業療法士） 鎌田樹寛（作業療法士） 本家寿洋（作業療法士） 浅野雅子（作業療法士） 児玉壮志（作業療法士） 浅野葉子（作業療法士） 朝日まどか（作業療法士） 桜庭聡（作業療法士） 依田泰知（作業療法士） 齋藤隆司（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

作業療法士の臨床経験を活かし、学生一人一人が臨床現場で経験したことと大学で学んでいる知識を結びつける指導を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している